



いちばんたいせつにしたいこと！

1 教育目標：おもいやりの心をはぐくみ、自ら学び、やり抜く子どもの育成

本校の教育理念を具現化するために、「おもいやりの心」を教育目標の中核にすえました。6年生がお手本となり、おもいやりであふれる学校づくりを推進していきます。おもいやりであふれる学校は子どもの笑顔が絶えない学校でもあります。



2 おもいやりとは！

おもいやりとは、純粹に親切な心からでる行動の一つで、そのあり方は様々な形であらわれます。相手の息災を気にして一声かける、何の見返りも期待せず「善」を行うということです。こうした倫理観から思いやりが生まれます。他人を思いやる行為は社会全体を幸福にすることにつながっていきます。本校の6年生には、この高い倫理観を身につけるとともに、下級生へのお手本となるよう指導していきます。6年生の活動が下級生の笑顔につながります。



3 おもいやりをもって行動するために、たいせつな5つの習慣

- (1) 相手の気持ちになってみる
- (2) 笑顔で接する
- (3) 相手の様子をきづかう
- (4) 自分のマナーに気をくばる
- (5) 自分のことを大切にしながら他人ことを大切にする



4 保護者のみなさまへのお願い！

子どもは、いつも親の姿を見ています。「ああしなさい、こうしなさい」という親のしつけの言葉よりも、親のありのままの姿のほうを子どもはよく覚えています。親は、子どもにとって人生で最初に出会う、最も影響力のある「お手本」です。おもいやりの良きお手本として、ご協力をお願いします。

